

No.1 交通事故防止の願いをこめ演奏

町交通安全対策協議会が主催する鏡石第一小学校5、6年生による交通安全鼓笛隊パレードが、9月24日(金)午後3時から、鏡石一小校庭から鏡石駅前を一周するコースで行われました。



演奏しながら行進する鏡石一小の5・6年生

このパレードは、秋の全国交通安全運動の一環として交通安全意識をよりいっそう高め、交通事故防止を広く啓発するために毎年行われているもので、今年は、鏡石第一小学校5・6年生210人の児童と、須賀川警察署、町交通安全協会、町交通安全母の会から合わせて280人が参加しました。

出発式では、町交通安全対策協議会会長の木賊町長と鏡石交番の古宮三朗所長があいさつし、パレードがスタートしました。

当日は、あいにくの曇り空でしたが、カラフルなバトンや大きな太鼓などの楽器を抱えた児童たちが、「ドラムマーチ」、「校歌」線路は続くよどこまでも」など5曲を演奏しながら元気に行進し、沿道に集まった、たくさんの方々のみなさんに交通事故防止を呼びかけました。

No.2 雄壮な山車やみこしが練り歩く

10月2日(土)、午後1時30分から鏡石秋祭り実行委員会(石井清司会長)主催による鏡石秋祭りみこしパレードが開催されました。



元気にパレードする参加者のみなさん

町民のエネルギーを集ませ町を盛り上げることを目的に、毎年行われているもので、今年は、子どもみこしの部に21団体、大人みこしの部に3団体の計24団体、総勢1,500人が参加しました。

当日は、鏡石第一小学校校庭で開会式が行われ、石井実行委員長があいさつ、続いて木賊町長が祝辞を述べました。

その後、アトラクションとして、玉川村在住の小山貢英さんによる獅子舞が披露されました。

終了後、鏡石二小の鼓笛隊を先頭に鏡石一小校庭をスタート。「わっしょい。わっしょい」という元気なかけ声とともに鏡石駅前、本町通りなど約2kmのコースをパレードしました。

沿道には、たくさんの方のみなさんが見物に訪れ、色鮮やかなハッピを身にまとった子どもたちや、みこしの担ぎ手に大きな声援を送っていました。

No.3 自然の中でキャンプを満喫

町商工会青年部が主催する「ふれあいキャンプ」が、9月11日(土)・12日(日)の2日間、ふれあいの森で行われました。

キャンプには、町内の3年生から6年生までの小学生と青年部員約40人が参加、一日目は、テント張りを行ったあと、夕食のメニューのカレーづくりや、キャンプファイヤーを、二日目は、魚のつかみ取り大会を行うなど大自然でのキャンプを楽しみました。



夕食のカレーづくりを行う参加者のみなさん

No.4 成田幼稚園 ふれあい運動会

成田幼稚園では、9月25日(土)午前9時から、成田保健センターグラウンドで第11回ふれあい運動会を開催しました。

当日は、すっきりとした秋晴れとなり絶好の運動会日和になりました。園児20名や父兄、成田区のみなさんが多数参加し、かけっこや綱引き、玉入れなど29種目を行いました。

全園児による応援合戦や参加者全員での成田盆踊りも行われ楽しいひとときを過ごしました。



元気いっぱいグラウンドを駆け回る園児たち

No.5 戦没者の霊を感める

町では、9月22日(水)午後1時30分から町勤労青年ホームで戦没者追悼式を行いました。

式には、町関係者や遺族会員など約80名が参加、参加者全員で、国歌斉唱と1分間の黙とうを行ったあと、木賊町長が式辞を述べました。続いて菊地町議会議長などが追悼の言葉を述べた後、献花を行い、戦没者の霊を慰めました。

また、式終了後は、町遺族会による戦没者慰霊祭が行われました。



厳かに行われた戦没者追悼式

No.6 高齢者の生活を体験

町社会福祉協議会では、9月25日(土)午後1時30分から町公民館でボランティア入門講座を開催しました。

8名の受講生が参加、町社会福祉協議会でボランティアコーディネーターをしている三浦さんからボランティアの基礎知識を学んだあと、高齢者疑似体験を行いました。

耳栓や重りなどを身に付け、階段の登り降りを体験した参加者たちは、高齢者の大変さを身にしみて感じていました。



階段を降りるのも一苦労